

令和5年度

# シラバス

～1年間の学習の流れ～



鈴鹿市立創徳中学校

「シラバス」 Syllabus とは、ギリシャ語に語源を持つ言葉で、「各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法な

るを記した総合的な学習計画」のことで、各教科・領域の学習において

- ① 基礎基本の定着と活用能力の育成
- ② 基盤の学力を身に付けるための学習習慣の定着
- ③ 表現力（話す・聞く・書く）の育成

をめざし、1年間の授業の流れを見通して、学習計画を作成しました。

このシラバスには、次のような3つの意義があります。

- (1) 生徒の皆さんが、より計画的・主体的に授業に取り組めるよう、1年間の学習の「道しるべ」としての意義
- (2) 生徒の皆さんはもちろん、保護者や地域の皆様へ、本校の教育の様子についてお知らせする意義
- (3) お知らせした教育の様子をもとに、よりよい教育の実現をめざしてご意見をいただくための基礎的な資料としての意義

中学校の3年間は、人間の一生の中で最も成長著しい時期にあたります。特に、今年度は新学習

指導要領が全面実施され、ChromeBook も一人一台配備され、活用していく初年度となります。新たに学ぶ

ことが増えたり、大事なことが重点化されていきます。コロナ禍の状況下に変わりはありませんが、私たち

教職員は、この大切な時期に、生徒の皆さんが、このシラバスをよりどころとして、気持ちを一新して

意欲的に学習に取り組んでくれることを心から期待します。また、本校の教育が保護者や地域の皆様にご

りかいとご支援をいただきながら、充実・発展していくことを願っています。

# 第1学年 国語

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「現代の国語1」（三省堂） 「中学書写一二三年」（光村図書） 副教材：「国語の学習」（明治図書） 「学習の達成」（新学社） 「つまづかない文法の学習」（新学社） 「単元別漢字マスター」（学宝社）	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 ノート 漢字マスター</li> <li>・書写の道具（必要に応じて）</li> <li>・副教材（必要に応じて）</li> </ul>
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、ことばの意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。</li> <li>・筋道立てて考えたり、想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合い、自分の考えを確かなものにしましょう。</li> </ul> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の練習をしましょう。</li> <li>・復習に「国語の学習」を使いましょう。</li> <li>・本や新聞を読む習慣を身につけましょう。</li> </ul> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計4回の定期試験を行います。漢字やワークで試験範囲を復習しましょう。文法はワークで復習しましょう。</li> <li>・「知識技能」「思考判断表現」の領域をかたよりなく学びましょう。</li> </ul>		
学習上の注意	<p>「授業はみんなで創るものです！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や態度に気をつけて、集中して授業に取り組みましょう。</li> <li>・忘れ物がないようにしましょう。</li> <li>・提出物の期限は守りましょう。</li> <li>・正しいことばで話すことを心がけましょう。人の意見はしっかり聞き、また相手に伝わる話し方を心がけましょう。</li> <li>・ていねいに、見やすいノート作りを心がけましょう。また、板書をただ写すだけではなく、自分の意見や友達の意見も積極的に書き込むなど工夫したノート作りを心がけましょう。</li> <li>・3学期に百人一首大会を行います。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって					
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法			
一 学 期	4	「朝のリレー」	中 間	知識 及 び 技 能	・中1の漢字の読み書き。 ・辞書的な意味と文脈上の意味に注意しているか。また、語彙は豊かになっているか。 ・文法、音声の働き、表現技法について理解できているか。 ・情報の扱い方、古典や書写などの言語文化について、理解できているか。	小テスト 定期テスト 授業の取り組み			
		「竜」							
		「グループディスカッション」							
		「言葉発見1」							
	5	「ペンギンの防寒着」							
		「クジラの飲み水」							
		「漢字のしくみ1」							
6	「言葉発見2」	期 末	・相手の反応を踏まえて伝えているか。 ・記録・質問しながら聞き取り、共通点と相違点を踏まえて考えをまとめているか。 ・話題や展開をとらえながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているか。	ノート ワークシート 聞き取りテスト 定期テスト 授業の取り組み					
	「文法の窓1」								
	「字のない葉書」								
7	「漢字のしくみ2」	書 写	・目的や意図に応じて題材を設定し、情報を集め、伝えたい内容を明確にしているか。 ・段落を意識して、構成や展開を考えているか。 ・根拠を明確にして、伝わりやすくなるような工夫をしているか。 ・目的に応じて要約したり、場面や描写を結び付けて解釈したりしているか。 ・読み手の立場になって推敲しているか。・叙述や描写から内容を理解しているか。 ・構成・展開・表現について根拠をもって考えているか。						
	「随筆」								
二 学 期	9	「玄関扉」	中 間	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力	・国語の学習に積極的に取り組み、生活に活かしていこうとする姿勢がみられたか。	ノート ワーク ワークシート 作品 宿題の取り組み 授業の様子			
		「言葉発見3」							
		「スピーチ」							
		「月を思う心」							
	10	「竹取物語」							
		「変わり身の上話」							
		「故事成語」							
	11	「漢字のしくみ3」					期 末		
		「情報を関係づける」							
		「学校行事リーフレット」							
	12	「文法の窓2」							
		「それだけでいい」							
「言葉発見4」									
「詩」									
「トロッコ」									
三 学 期	1	「ブッククラブ」	学 年 末						
		「書写」							
		「百人一首」							
2	「意味と意図」	学 年 末							
	「意見文」								
	「言葉発見5」								
3	「少年の日の思い出」								
	「グループ新聞」								

# 第1学年 社会

## 学習教材および学習の進め方

<p>使用教材</p>	<p>中学生の地理 (帝国書院)          中学校社会科地図(帝国書院)          アクティブ地理 (浜島書店)          地理 完全学習 1 (正進社)</p>	<p>中学生の歴史 (帝国書院)          歴史資料集 (未定)          歴史ワーク (未定)</p>	<p>持ち物</p>	<p>【地理】 教科書・地図帳          資料集・ファイル          ワーク          【歴史】 教科書・ワーク          資料集・ファイル</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;          社会は憶える事柄が非常に多くあります。もちろんその知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会の力はつきません。社会科で大切なのはつながりを考えることです。そのつながりを考える土台として知識が必要になります。最近の入試では資料を読み取ったり、「なぜ」を問うような記述問題が多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。同じ憶えるにしてもつながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが憶えやすいし、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、感想ノートにその疑問を書いたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めよう。</p> <p>&lt;家庭学習 (地理) &gt;          地理でもっとも大事なものは地図です。地理を勉強するときは必ず<b>地図帳</b>を横においてください。わからない地名や国名が出てくれば必ず地図帳で調べます。地理でも授業の進度に合わせてノートに自主学習を進めていきます。はじめは、授業の内容や重要な事柄を説明できるようにまとめましょう。最も重要な事柄だけを抜き出したり、箇条書きでまとめなおしたりと自分なりに工夫をしていきます。そしてノートにはできるだけ自分で簡単な地図を書くようにしましょう。</p> <p>&lt;家庭学習 (歴史) &gt;          歴史では、時代ごとに一番重要なことを抜き出してまとめます。そのときにできるだけ少ない事柄だけにします。その時代がどうやって始まり、どう終わったのか。重要な出来事は何か。プリントを使って学習していきます。</p> <p>予習では教科書を読んで次の時間の内容のページを読み、重要な言葉などをノートに書きだしましょう。5分でも10分でも読むことで授業での理解度の違いが大きく出ます。次に授業プリントにある復習問題を授業があったその日に解きましょう。わからない問題があった場合は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。</p>			
<p>学習上の注意</p>	<p>予習より復習をメインに家庭学習を行いましょ。社会科の授業は週に3回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、自主学習ノートを書いたり、ワークを何度も解いたりするようにしましょう。</p> <p>授業では積極的に参加し、友達の発表も参考にして、また自分も積極的に発表しましょう。学び合いの授業をすすめていくので、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にすることで、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。</p>			

## 学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	<b>地理的分野</b> 1章 世界のすがた	中 間	知識・技能	地理的・歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。	定期テスト ワーク 自主学習ノート
	5	2章 世界各地の人々の生活と環境				
	6					
	7	3章 世界の諸地域 ①アジア州	期 末			
二 学 期	9	②ヨーロッパ州 ③アフリカ州 ④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州  <b>歴史的分野</b> 1章 歴史のとらえ方 2章 古代までの日本 ①世界の古代文明と宗教のおこり ②日本列島の誕生と大陸との交流	中 間	思考・判断・表現	地理的・歴史的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 地理的・歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	定期テスト 発表内容 自主学習ノート 定期テスト レポート
	10					
	11					
	12					
三 学 期	1	③古代国家のあゆみと東アジア世界 3章 中世の日本 ①武士の台頭と鎌倉幕府 ②東アジア世界との関わりと社会の変動	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする	ワーク 発表内容
	2					
	3					

# 第1学年 数学

## 学習教材および学習の進め方

<b>使用教材</b>	教科書 『未来へひろがる数学1』（啓林館）  副教材 『数学の学習ノート』（正進社）	<b>持ち物</b>	左記以外に 授業用ノート ファイル 筆記用具 直定規 コンパス（必要に応じて）
<b>学習の進め方</b>	<p><b>確かな学力を身につけるには</b></p> <p>数学の学習を「問題を解く」ことだと思いませんか。数学でも、ほかの教科と同じように「どうなるのかな？」と予想したり、実際に実験をして確かめたり、みんなで話し合いをして、考えを深めながら解決したりすることなども、とても大切です。</p> <p><b>【知っていることをもとにして、新しいことを「発見する力」を身につける】</b></p> <p>与えられたことをただ学ぶのではなく、すでに学んだことをもとにして、どんなことがわかるかな、どうすればいいかな、どうなるかなと考えながら、学習に取り組みましょう。すると、新しい性質や考え方を自ら発見できるようになり、よりいっそう数学のよさやたのしさを実感することができます。</p> <p><b>【学んだことを「利用する力」を身につける】</b></p> <p>数学では、学んでいく中でたくさんの知識や考え方を身につけていきます。知識を増やしていくことは、たくさんの道具を持つことと同じです。しかし、道具を使わなければ意味がありません。この身につけた知識や考え方を数学の問題だけではなく、身のまわりの問題にも活用することでより確実なものになっていきます。</p> <p><b>【自分の考えを「表現する力」を身につける】</b></p> <p>数学に限らず、自分の考えをことばや文字で表現することはとても大切なことです。数学の学習では、自分の考えを伝えようとすることで、筋道立てて考える力が身につきます。</p> <p><b>【「記録する力」を身につける】</b></p> <p>黒板に書かれたことを写すだけではなく、先生の説明やほかの人の発言で、大切だと思ったこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。そうすることで、学習したことがらをより深く理解できるようになります。</p> <p><b>家庭学習では</b></p> <p>たくさん問題を解くことで数学の力は身につけていきます。宿題が出されたら、その日のうちに取り組みましょう。分からなくなった場合は、教科書からよく似た問題を探したり、解答を参考にしたりするなど、「問題の解き方」を理解しましょう。授業中に間違えた問題も同じように学習することで理解を深めましょう。</p>		
<b>学習上の注意</b>	<p>授業の準備は早めに行い、忘れ物をしないようにしましょう。</p> <p>ノート・問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。</p> <p>話し合うときには → 自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えよう。</p> <p>発表するときには → 自信をもって、大きな声で発表しよう。</p> <p>発表を聞くときには → ほかの人の意見と自分の意見をくらべながらしっかり聞こう。</p> <p>まとめるときには → 自分の考えがよく伝わるようにていねいな文字で、図や表なども利用してわかりやすくまとめよう。</p> <p><b>【ノートの工夫】</b></p> <p>○×をつけるだけでなく、なぜ間違えたのかを書こう。</p> <p>そして、もう一度解いて、同じ間違いをなくそう。</p> <p>式だけでなく図もかいて考えよう。</p> <p>色をうまく使ってわかりやすくしておこう。</p> <div data-bbox="925 1926 1436 2083" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 例えば、分数は2行を使って書くことで見やすく、計算もミスしにくくなります。             </div>		

学習計画				
	月	単元計画		
一学期	4	<b>1章 正の数・負の数</b> ○ 0より小さい数 ○ 正の数・負の数で量を表すこと	中間	
	5	○ 絶対値と数の大小 ○ 正の数・負の数の加法, 減法 ○ 正の数・負の数の乗法, 除法 ○ いろいろな計算		
	6	○ 数の世界のひろがり ○ 正の数・負の数の利用		
	<b>2章 文字の式</b> ○ 数量を文字で表すこと ○ 文字式の表し方 ○ 式の値			
	7	○ 文字式の加法, 減法 ○ 文字式と数の乗法, 除法 ○ 関係を表す式		期末
	<b>3章 方程式</b> ○ 方程式とその解 ○ 方程式の解き方 ○ 比と比例式			中間
	9	○ 方程式の利用 ○ 比例式の利用		
10	<b>4章 変化と対応</b> ○ 関数 ○ 比例の式 ○ 座標 ○ 比例のグラフ			
二学期	11	○ 反比例の式 ○ 反比例のグラフ ○ 比例, 反比例の利用	期末	
	<b>5章 平面図形</b> ○ 直線と図形 ○ 図形の移動			
	12	○ 基本の作図 ○ 図形の移動と基本の作図の利用 ○ 円とおうぎ形の性質 ○ 円とおうぎ形の計量		
	<b>6章 空間図形</b> ○ いろいろな立体 ○ 空間内の平面と直線 ○ 立体の構成			学年末
	1	○ 立体の体積 ○ 立体の表面積		
2	<b>7章 データの活用</b> ○ データを活用して, 問題を解決しよう			
三学期	3	○ 整理されたデータから読み取ろう ○ 確率と相対度数		

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	定期テスト, 小テスト, 授業への取り組み姿勢, など
	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期テスト, 小テスト, 授業への取り組み姿勢, レポート, など
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	定期テスト 授業への取り組み姿勢, レポート, 提出物・宿題への取組, など



# 第1学年 理科

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス1 (啓林館) 副教材	持ち物	筆記用具 教科書 ファイル 理科便覧 ワーク (解答も)
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力をする。</li> <li>・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。</li> </ul> </li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手なことにも挑戦する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったこと、課題を解決できたことに自信を持つ。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業で習った部分の授業プリントをノートに写して授業の復習をする。 次に習う新たな用語などを調べたりする。</li> <li>○宿題・提出物をしっかり仕上げる。</li> </ul> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲はテスト発表時に通知する。</li> <li>○授業中に学習したことや配られたプリントをしっかり復習しておく。</li> </ul> <p>&lt;グループ学習について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理科の授業・実験では、4人～6人班でのグループ活動を行う場合があります。</li> <li>○すばやく班の形になり、机はぴったりくっつけましょう。</li> <li>○自分で考えても分からないときには「教えて」と言いましょう。</li> <li>○「教えて」と言われたら「わかる」ようになるまで教えてあげましょう。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席する。</li> <li>○授業の準備物を忘れない。</li> <li>○板書されたこと、気付いたことなどを、授業プリント・ノートに工夫してまとめておく。</li> <li>○先生の話や友達の話・発表をしっかり聞く。</li> <li>○授業プリント・単元プリント・実験レポートなどの提出は期限を守る。</li> <li>○授業プリントのまとめなど、個人学習が早くできて余裕があるときは、資料集・ワーク等を使って、予習・復習などから各自の課題を選択し、自主学習を進める。</li> <li>○授業で疑問に思ったことは、事典・インターネット等を使って、積極的に調べる。</li> <li>○実験中は安全第一を心がけ、集中して取り組み、ふざけたり暴れたり等危険な行為をしない。</li> <li>○班活動では、他の班員の個性を尊重し、いろいろな考え方を認めたり、取り入れたりして、自分の識見を広げる努力をする。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単元計画	
一学期	4	○自然の中にあふれる生命	中間
	5	○【生命】いろいろな生物とその共通点	
	6	・植物の特徴と分類	期末
	7	・動物の特徴と分類	
		○【物質】身のまわりの物質	
		・いろいろな物質とその性質	
二学期	9	・いろいろな気体とその性質	中間
	10	・水溶液の性質	
		・物質の姿とその変化	期末
	11	○【エネルギー】光・音・力による現象	
		・光による現象	
		・音による現象	
	12	・力による現象	
三学期	1	○【地球】活きている地球	学年末
	2	・身近な大地	
	3	・ゆるる大地	
		・火をふく大地	
		・語る大地	

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象について、基本的な概念や原則・法則を正しく理解し、知識を身に付けているか。</li> <li>・実験器具を正確・安全に使えているか。</li> <li>・実験器具の使用目的を理解しているか。</li> <li>・実験観察から導き出されたことをレポートにまとめられるか。また、その結果からわかることを他の人にわかりやすく工夫してまとめられるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・実験レポート</li> <li>・調べ学習レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行うことができる。</li> <li>・規則性や関係性を見出して表現するなど、科学的に探究している。</li> <li>・レポートや発表の時に、図や表を用いて他の人にわかりやすくまとめる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言、発表</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・実験レポート</li> <li>・調べ学習レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が持った課題に対してどのように取り組もうとしているか。</li> <li>・理科に対する関心・意欲を持って、授業に取り組もうとしているか。</li> <li>・学習した内容をどれだけ振り返ろうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言、発表</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・授業プリント</li> <li>・実験レポート</li> <li>・調べ学習レポート</li> <li>・自由研究</li> </ul>

# 第1学年 英語

## 学習教材および学習の進め方

<p>使用教材</p>	<p>教科書：NEW HORIZON（東京書籍）</p> <p>副教材：ジョイフルワーク（新学社） 英語 ワークノート（新学社）</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・英語ワークノート</li> <li>・ファイル(紫色)</li> <li>・ジョイフルワーク</li> </ul>
<p>学習の進め方</p>	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <p>○小学校ではたくさんの英語を聞いたり話したりする練習を中心に学習しました。<u>中学校では、英文を読んだり、書いたりする学習が本格的に始まり、文法（英語を作る時のルール）の学習も始まります。</u>習った表現を使って、自分のことや身の回りのことについて積極的に英語で表現していこう。</p> <p>○授業に集中し、説明や話、指示をしっかりと聞き、授業の中で覚えるくらいの高い意識をもって授業に臨もう。そのために恥ずかしがらずに大きな声で音読する、教師の発音の真似をする、声に出して覚えるということを習慣化しよう。</p> <p>○授業で理解できたことと理解できなかったことを自分の中で明確にし、理解できなかったことは質問などをしてその日のうちに解消する努力をしよう。</p> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <p>○予習として単語写し（調べ）・基本文写しをノートにしよう。</p> <p>○復習として「単語・本文・基本文が読めて、意味が言え、書ける」ように何度も反復練習しよう。</p> <p>※ <u>短時間でよいので何度も単語や基本文を見返す習慣をつけよう。</u></p> <p>○宿題は必ずその日のうちにしよう。ワークは答え合わせもしよう。</p> <p>○単語テスト・小テストに向けての勉強も忘れずにしよう。</p> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <p>○普段から確実に単語・本文・基本文法を復習しよう。</p> <p>○テスト期間では試験範囲のユニットを計画的に、確実に見直そう。</p>		
<p>学習上の注意</p>	<p>○教科書・ノート・ファイル等、授業の準備物を忘れない。</p> <p>○しっかりと声を出して単語や本文を読む練習をする。</p> <p>○ペア・グループワークなどの活動では教え合い、互いに高め合う。</p> <p>○ノート・ワーク等の提出期限を守る。</p> <p>○授業以外の時間でも間違いをおそれず積極的にALTに話しかける。</p>		

# 学習内容および評価規準

学習計画				
	月	単元計画		
一 学 期	4	<b>0 Welcome to Junior High School</b> 小学校で学習した表現を使って自分のことを伝える <b>1 New School, New Friends</b> be 動詞、助動詞などを使って自分が普段することやできることを伝える	中間	
	5	<b>2 Our New Teacher</b> 疑問詞を使って身近な人やものについて紹介したり、たずねたりする		
	6	<b>3 Club Activities</b> いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりする <b>4 Friends in New Zealand</b> 相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりする		
	7	<b>5 A Japanese Summer Festival</b> 一般動詞や前置詞を使って行った場所や楽しんだことについて話す <b>Stage Activity 1</b> 自分の好きなことについて、つながりのある文章を書く	期末	
	二 学 期	9	<b>6 A Speech about My Brother</b> 自分と相手以外の人やものなどについて伝えたりたずねたりする	中間
		9	<b>7 Foreign Artists in Japan</b> 自分と相手以外の人について話したり、誰のものかたずねたりする	
		10	<b>8 A Surprise Party</b> 進行形を使って今していることについて説明したり、たずねたりする	
11		<b>9 Think Globally, Act Locally</b> したいことや、する必要のあることについて伝える	期末	
12		<b>Stage Activity2</b> あこがれの人や有名人を紹介する		
三 学 期	1	<b>10 Winter Vacation</b> 過去の出来事について説明する	学年末	
	2	<b>11 This Year's Memories</b> 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことを説明する		
	3	<b>Stage Activity3</b> 思い出に残った学校行事について発表する		

評価にあたって		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>文を作るためのルール（文の仕組、文字、符号など）を理解しているか。</li> <li>ルールに従って正しく英文（基本本文含む）を言ったり、書いたりすることができるか。</li> <li>学習した英文を聞いたり読んだりして、その意味を正確に理解することができるか。</li> <li>英語のイントネーションや区切りなどを用いて音読したり話したりすることができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生・生徒とのコミュニケーションの様子</li> <li>小テスト</li> <li>定期テスト</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や目的に応じて、学習した基本的な表現を用いて話したり書いたりすることができるか。</li> <li>学習している題材（話題）に関して自分の意見や考えなどを話したり書いたりすることができるか。</li> <li>身近な話題に関するまとまりのある英文を聞いたり読んだりして、概要（大まかな内容）や必要な情報・ポイントなどを理解することができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生・生徒とのコミュニケーションの様子</li> <li>宿題・課題の取組状況や提出物</li> <li>小テスト</li> <li>定期テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強方法を工夫しながら、積極的に学習しようとしているか。</li> <li>英語のコミュニケーション活動に積極的、協力的また興味を持って取り組んでいるか。</li> <li>学んだ英語を進んで使ったり、意欲的に発言や質問をしたりしているか。</li> <li>分からない所があっても粘り強く英語を聞いたり、話したり、書いたり、読んだりしようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生・生徒とのコミュニケーションの様子</li> <li>宿題・課題の取組状況や提出物</li> <li>振り返りシート</li> <li>小テスト</li> <li>定期テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強方法を工夫しながら、積極的に学習しようとしているか。</li> <li>英語のコミュニケーション活動に積極的、協力的また興味を持って取り組んでいるか。</li> <li>学んだ英語を進んで使ったり、意欲的に発言や質問をしたりしているか。</li> <li>分からない所があっても粘り強く英語を聞いたり、話したり、書いたり、読んだりしようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生・生徒とのコミュニケーションの様子</li> <li>宿題・課題の取組状況や提出物</li> <li>振り返りシート</li> <li>小テスト</li> <li>定期テスト</li> </ul>

# 第1学年 音楽

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	中学生の音楽1（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） マイソング 音楽のキャンパス1（ワーク）	持ち物	使用教材と筆記用具 ファイル（楽譜やプリント等）
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出欠確認と持ち物のチェックを毎時間行う。</li><li>・ 歌唱を中心に授業を進めるが、器楽では、和楽器(箏)に触れる。</li><li>・ 多様な音楽に興味関心がもてるように、幅広く鑑賞。また、創作活動等にも取り組む。</li><li>・ 振り返りシートを記入する。</li></ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・ チャイムが鳴る前に教室を移動し、所定の座席に座る。</li><li>・ 私語をせず、指導者の話をしっかりと聞く。</li><li>・ 一人ひとりが協力して、グループ練習（できる範囲）や表現のための活動を行う。</li><li>・ プリントなどの配布物は、ファイルで管理する。</li><li>・ プリントの提出内容は、評価に加味する。</li><li>・ 表現活動は、集中して、積極的に意欲的に取り組む。</li><li>・ 鑑賞は、聴くという態度に気をつけ、適度な緊張感を保つ。</li><li>・ マナーを守って落ち着いて取り組む。</li></ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単元計画	
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業マナー、</li> <li>・小学校での学習の音楽用語の確認</li> <li>・校歌を覚える</li> <li>・発声の基本</li> <li>・「主人は冷たい土の中に」等</li> <li>・曲想の変化</li> <li>・既習曲の歌唱活動</li> <li>・鑑賞曲「春」</li> <li>・呼吸法・発声法の練習</li> </ul>	期末
	5		
	6		
	7		
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞曲「魔王」</li> <li>合唱活動</li> <li>・パート分けとパート練習の自主運営（できれば）</li> <li>・ハーモニー、旋律の重なり</li> <li>・曲想表現の工夫</li> <li>・指揮と伴奏との合わせ</li> <li>・心の歌</li> <li>・鑑賞曲「箏」「雅楽」等</li> <li>・表現活動の見直し</li> </ul>	期末
	10		
	11		
	12		
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞曲「日本の民謡」「アジアの諸民族の音楽」等</li> <li>・曲想表現の工夫「ふるさと」</li> <li>・創作への取り組み</li> <li>・1年のまとめと来年度への取り組み</li> </ul>	学年末
	2		
	3		

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身につけている。</li> <li>・音楽用語や記号、曲に関する理解</li> </ul>	実技テスト  定期テスト
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えて何がふさわしいのか、どのように歌うのかの思いについて意図をもっている。</li> <li>・仲間との協調性</li> </ul>	レポートや活動の様子  定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律に関わるマナー</li> <li>・活動の取り組みへの態度、姿勢、積極性</li> <li>・活動場面での協調性</li> </ul>	遅刻・忘れ物・服装のチェック 練習・発表活動の様子  定期テスト

# 第1学年 美術

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 『美術1』 光村図書 副教材 美術資料 秀学社 レタリング字典 秀学社	持ち物	左記以外に 絵の具セット（必要時のみ） 色鉛筆 筆記用具 ファイル スケッチブック（美術室保管）
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組もう。</li> <li>・ 自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで取り組もう。</li> <li>・ 作品制作だけでなく、鑑賞の授業や美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるようにしよう。</li> <li>・ ワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかりと考えて取り組んでいこう。</li> <li>・ 教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の意見や感想を述べられるようにしよう。</li> <li>・ 授業開始時には、振り返り用紙に本時の自分のめあてを、授業終了時には授業内容を振り返り、制作上の疑問・反省、次回への取り組み方などを記入しよう。</li> </ul> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に発表された課題などを、テストまでによく考えておくこと。</li> <li>・ テスト当日の持ち物を忘れないようにする。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャイム着席・作業の準備・後片付けがしっかりできるようにする。</li> <li>・ 授業の準備物を忘れない。</li> <li>・ 制作にあたっての説明をよく聞く。</li> <li>・ 私語を慎み、制作に集中する。</li> <li>・ 作品提出は期限を守る。</li> <li>・ 配布された資料などのプリントは、なくさないよう全てファイルにとじるようにする。</li> <li>・ 安全面に気をつけて制作する。</li> <li>・ 各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かす。</li> <li>・ 他の人の作品を鑑賞し、作品の良いところを見つけてこれからの自分の作品に活かせるよう鑑賞する。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単元計画	
一学期	4	オリエンテーション レタリングについて レタリング練習	期末
	5	デッサンについて デッサン練習	
	6	色の整理について	
	7	絵の具の着色練習 ポスターについて	
二学期	9	鑑賞 絵文字制作	期末
	10		
	11	色彩平面構成・練習	
	12		
三学期	1	鑑賞 色彩平面構成・本番	学年末
	2		
	3	1年間の美術科の作品鑑賞と ふりかえり	

評価にあたって		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	形、色彩などの表し方や美術文化を理解しているか。 制作意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現できたか。 材料や用具の特性などから制作の順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 自分の目的を達成し、完成度の高い作品を制作することができたか。	プリント 作品 配色の工夫 着彩の工夫 技法や用具の 使い方の工夫 テスト
	思考・判断・表現力	対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したこと から自分の表現したい主題を 考えることができたか。 また、その主題をもとに構成 を工夫し、心豊かに発想し、 構想を練ることができたか。 美術文化に対する見方や感じ 方を深めることができたか。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動に喜びを感じ、意欲的に制作していたか。 課題と向き合い、深く考えて主体的に学習活動に取り組もうとしていたか。 制作に必要な資料や情報を集めて作品に活かそうしていたか。 プリントや作品を遅れずに提出できたか。	準備物 授業の様子 宿題 作品 プリント 毎時間ごとの 振り返り用紙



# 第1学年 保健体育

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 新中学保健体育（学研）</li> <li>・副教材 図解中学体育（暁教育図書）</li> <li>・学習のプリント（新学舎）</li> </ul>	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル</li> <li>・筆記用具</li> <li>・体育館シューズ</li> </ul>
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席順で1番が列の基準になり、体育委員が号令をかけて整列させる。体育係が中心となり、授業の準備をおこなう。</li> <li>・まず、授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け、初歩的なルールなど）を覚える。基本的なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに先生や友だちのアドバイスを参考にしながら、自分（たち）の課題（目標）を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫したりしながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。</li> <li>・全体の動きに機敏性を持たせる為に集団行動の徹底をはかる。</li> <li>・年間を通して準備運動を実施し、さらに補強運動をすることによって運動能力を高める。</li> <li>・忘れ物をなくし見学でもジャージに着替える。</li> <li>・先生の指示をよく守り安全に留意して運動できる。</li> </ul> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストを実施することにより、保健分野と体育理論の定着をはかる</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組む。</li> <li>・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしない。</li> <li>・指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片付け、練習など）し、周りの安全を考えて取り組む。</li> <li>・効果的で安全な活動をするため、基礎的な事柄（服装や身なりを整え、運動種目の規則を守るなど）に注意して取り組む。</li> <li>・体操服：夏服期間は半そで、ハーフパンツを着用する。 見学者にはウインドブレーカーの着用を認める。 *体調不良等、特別な理由がある場合は生徒手帳で連絡する。</li> <li>・保健体育の教科書・図解体育・ファイルは教室のロッカーにまとめておき、いつでも使えるようにする。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点	評価の方法	
一 学 期	4	集団行動 ラジオ体操 体育祭練習	期 末	知識・技能	<b>【体育分野】</b> ○知識 ・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。 ○技能 ・運動の特性に応じた基本的な記述や応用した技能ができる。  <b>【保健分野】</b> ○知識 ・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。	実技テスト 定期テスト 学習カード
	5	集団行動 新体力テスト				
	6 7	陸上競技（短距離走・走り高跳び） 球技（バレー） 保健分野				
二 学 期	9	器械運動（マット）	期 末	思考・判断・表現	<b>【体育分野】</b> ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。  <b>【保健分野】</b> ・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。	参加状況 授業の取り組み方 学習カード 定期テスト
	10	球技（テニス、バドミントン）				
	11 12	武道・ダンス 陸上競技（持久走） 保健分野 体育理論				
三 学 期	1 2	球技（バスケット、サッカー）	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。  <b>【体育分野】</b> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。  <b>【保健分野】</b> ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	参加状況 授業の取り組み方 ラジオ体操 学習カード 提出物 発表
	3	保健分野 体育理論				

# 第1学年 技術・家庭（技術分野）

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書【NEW技術・家庭 技術分野（教育図書）】	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワーク</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の課題をとらえ、課題の解決に向けて取り組もう。</li> <li>・わからないところ、できないところを明らかにし、学習活動や実習に取り組もう。</li> <li>○グループ学習では、疑問や意見を出し合い、互いに学び合おう。</li> <li>○実習では、安全面を考えながら、グループで協力して作業に取り組もう。</li> <li>○学習活動について、自己評価したり、互いに評価し合ったりしよう。</li> </ul> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校で学習したことや身につけた技術を生活に活かそう。</li> </ul> <p>&lt;定期試験では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中に学習した内容や実習内容等（教科書、学習プリント等）を復習し、学んだことを定着させよう。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着こう。</li> <li>○学習する内容は、学習プリントやデータにまとめよう。</li> <li>○授業での発問には、積極的に発表しよう。</li> <li>○グループ学習では、疑問や意見が出し合えるように協力して進めよう。</li> <li>○実習では、安全面に十分に気をつけて、けがのないように取り組もう。また、互いに教え合いながら協力して取り組もう。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単元計画	
一学期	4	材料と加工の技術 ガイダンス つくって学ぼう 1 材料の技術と加工の技術 2 材料の特性 3 問題を解決する工夫 4 実習の安全な進め方 5 つくってみよう	期末
	7		
二学期	8	じっくりまなぼう 1 設計の仕方 2 図や表を読み取ろう 3 設計に沿った製作	期末
	9		
	10		
	11		
	12		
三学期	1	3 設計に沿った製作 4 学んだことをまとめよう	学年末
	2	学びを深め生かそう 社会の発展と材料加工の技術のまとめ	
	3		

評価にあたって		
	評価の観点	評価の方法
知識・技能	材料の加工の特性等を理解している 材料の基礎的な仕組みを理解している 設計の考え方や手順を理解している 安全・適切に材料どり、部品加工、組み立て、接合、仕上げができる	学習プリント 学習活動 実習 完成品 定期テスト
	技術に込められて問題解決の工夫について考えている 材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問題を見出して課題を設定している 設計・計画に照らして、政策の過程を評価・改善および修正している	学習プリント 学習活動 実習 完成品 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	進んで材料と加工の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるように他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている	学習プリント 学習活動 実習 製品 定期テスト

# 第1学年 技術・家庭（家庭分野）

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 NEW「技術・家庭」 家庭分野 東京書籍	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。</li> <li>○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。</li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。</li> <li>○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。</li> <li>○実習においては、安全面・衛生面に気を付けて取り組もう。</li> </ul> <p>&lt;家庭学習では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での仕事を手伝おう。 特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。夏休み・冬休みの課題にていねいに取り組もう。</li> </ul> <p>&lt;定期テストでは&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。</li> <li>○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。</li> <li>○学習内容をよく復習しておこう。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。(持ち物は机上に揃えて出しておく。)</li> <li>○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。</li> <li>○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。</li> <li>○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。</li> <li>○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備・身支度しよう。</li> <li>○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。</li> <li>○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。</li> </ul>		

## 学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単元計画	
一 学 期	4	オリエンテーション B編 衣食住の生活 1章 健康と食生活	期 末
	5	1 食事の役割を考えよう 2 健康に良い食習慣について 考えよう	
	6	2章 何をどれだけ食べたらよ いか 1 栄養素の種類と働きを知ろ う 2 中学生に必要な栄養の特徴 を知ろう	
	7	3 食品に含まれる栄養素を調 べよう 4 1日に必要な食品の種類や 概量を知ろう 食育 お弁当	
	9	5 1日分の献立を考えよう  ・お弁当の献立作成 (お弁当の日のために)	
	10	4章 私たちの衣生活 1 衣服の働きを知ろう 2 目的に合わせて自分らしく 着よう	
	11	3 衣服を計画的に活用できる ようになろう 4 自分にあった衣服を手に入 れよう 5 衣服の手入れをしよう	
二 学 期	12	食育 丈夫な骨を育てよう 3章 調理と食文化 7 地域の食文化を知ろう	期 末
	1	・年中行事と私たちの暮らし	学 年 末
2	5編 生活を豊かにする製作 1布を使って作ってみよう		
3			

評価にあたって			
	評価の観点	評価の方法	
知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。</li> <li>・生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・発表、発言</li> <li>・実習・課題の取り組み方</li> <li>・作品</li> </ul>	
	思考・ 判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。</li> <li>・実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。</li> <li>・他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動への取り組み方</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・実習・課題の取り組み方</li> <li>・作品</li> </ul>
	主体的 に学習 に取 り組 む態 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っていたか。</li> <li>・生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。</li> <li>・日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。</li> <li>・将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・各活動への取り組み方</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・実習・課題の取り組み方</li> <li>・作品・課題の提出や記入状況</li> <li>・忘れ物</li> <li>・発表、発言</li> </ul>

# 第1学年 道徳

## 学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「あすを生きる1」（日本文教出版）	持ち物	・教科書 ノート 筆記用具
学習の進め方	<p>&lt;確かな道徳的価値を身につけるには&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学級や学校の一員としての自覚をもち、現在ある課題や将来出会うであろうさまざまな場面について、主体的に考えましょう。</li><li>・教科書と付属のノートのほか、プリント等を使います。</li></ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分のこととして考えることが大切です。「自分ならどう考えるか、どう行動するか」を常に自分に問うようにしましょう。</li><li>・友達の意見を聞きましょう。話し合いを通して、人として他者とともによりよく生きる方法をとものに考えましょう。</li><li>・さまざまな場面で主体的に判断ができるように、道徳的な価値観を身につけましょう。</li></ul>		

## 学習内容および評価について

学習計画		
	月	単 元 計 画
一 学 期	4	・「サッカーの漫画を描きたい」
	5	・「挫折から希望へ」 ・「人のフリみて」
	6	・『愛情貯金』をはじめませんか ・「さかなのなみだ」 ・「近くにいた友」 ・「トマトとメロン」
	7	・「ばあば」 ・「ふれあい直売所」
	8	・「あったほうがいい？」
	9	・「花火に込めた平和への願い」 ・「疾走、自転車ライダー」 ・「部活の帰り」 ・「私は清掃のプロになる」
	10	・「私らしさって？」 ・「むかで競争」 ・「使っても大丈夫？」 ・「公平と不公平」
二 学 期	11	・「違いを乗り越えて」 ・「あふれる愛」 ・「富士山から変えていく」 ・「木の声を聞く」
	12	・「オーロラ ―光のカーテン― 」 ・「家族と支え合うなかで」 ・「震災を乗り越えて ―復活した郷土芸能― 」
	1	・「奈良筆に生きる」 ・「ゆうへ ―生きていてくれてありがとう― 」 ・「裏庭でのできごと」
	2	・「旗」 ・「自分だけ「余り」になってしまう……」 ・『肝心』のバスガイド ・「役に立つことができるかな」
	3	・「バスと赤ちゃん」 ・「緑のじゅうたん」 ・「いつわりのバイオリン」

評価は各学期、文章評価で行います。